

令和2年6月18日

都道府県・政令市教育委員会 教育長 殿

国立大学法人宮城教育大学
学長 村松 隆
(公印省略)

教員・教育委員会職員対象 311 教訓伝承・防災実地研修について (ご案内)

日頃より、本学の教育・研究活動につきまして、ご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナ禍で学校現場、教育現場が多大な影響を受け、日夜、対応にご尽力されておられることに敬意を表します。

引き続き、大きな混乱が続く中、大変恐縮ではありますが、宮城教育大学「311 いのちを守る教育研修機構」が昨年スタートさせた全国教職員対象の東日本大震災被災地視察研修について、8月に予定した研修の実施に向けて参加者募集を始めることといたしましたので、ご案内申し上げます。

ことし3月に予定した2回目の研修はコロナ禍の影響で中止になり、ご迷惑をおかけしました。その後、研修実施地の宮城、岩手両県をはじめとして緊急事態宣言の解除が全国で進むなど、実施に当たっての環境が一定程度確保されたと判断し、実施準備を進めることといたしました。

実施に当たっては、参加者のご協力の下、安全確保と感染拡大防止に細心に注意と努力を払うことを確認しております。

(別紙「実施に当たっての整理」「参加に当たっての注意」を参照)。

予定する研修は、初回の昨年8月に実施した研修とほぼ同日程、同内容になります。

(初回研修総括は機構 HP 参照 http://drr.miyakyo-u.ac.jp/report20190825_0828/)

来年3月に発災10年になる震災の知見と教訓を引き継ぎ、南海トラフ巨大地震など警戒される同様の災禍に備えるべく、学校現場で災害から児童・生徒のいのちを守り、子どもたちに「ともに生き抜く力」を身につけさせるための防災教育の視点を共有いたします。

つきましては、貴職下教育委員会職員及び現職教員の方々にもご参加いただきたく、派遣につきましてご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、当機構の被災地視察研修は今後3月下旬、8月下旬と年2度をめどに定期開催してまいりますので、その都度ご案内させていただきます。

記

- 1 開催日 令和2年8月19日(水)～22日(土)3泊4日
- 2 主催 国立大学法人宮城教育大学「311いのちを守る教育研修機構」
- 3 対象 南海トラフ巨大地震等災害警戒地域の教員、教育委員会職員、関係部局職員 等
- 4 定員 十数人を想定(数人規模でも実施予定)
- 5 視察地 石巻市立大川小学校跡地・南三陸町戸倉小学校跡地・仙台市荒浜小学校震災遺構
気仙沼市立向洋高校震災遺構・陸前高田市・釜石市鶴住居地区 等
※詳細は別紙日程表を参照
- 6 内容 被災地震災遺構・跡地の視察、被災地児童生徒支援NPOの講話と意見交換、視察の
総括・グループワーク 等 ※参加者には修了証を交付いたします。
- 7 費用 参加費：一人当たり30,000円(予定) <JR仙台駅集合、仙台駅・仙台空港解散>
※宿泊は個室を予定します
※参加費には、宿泊料・バス代・施設見学料等すべて含まれます
※公務出張ではなく、個人参加者は保険に加入のうえご参加ください
- 8 備考 宮城教育大学生も同行する場合があります

申し込みに当たっては、別紙注意事項、申し込み手続き案内等を参照のこと、

締め切りは令和2年7月17日(金)

この件の問い合わせは

担当の武田真一(機構特任教授)まで

s-takeda@staff.miyakyo-u.ac.jp

090-7667-6538